



LPSコンサルティング事務所 代表 Ph.D.

たむらひろし  
**田村弘志**氏(写真左)

同所 特別顧問 順天堂大学医学部教授

ながおかいさむ  
**長岡功**氏(写真右)

1976年東北大学農学部卒業。生化学工業株式会社に入社後、細菌内毒素の迅速定量など多くの技術・製品開発、特許取得、米国子会社への技術移転等に中心的役割を果たす。2012年、LPSコンサルティング事務所を設立(代表)。埼玉大学大学院理工学研究科で博士号を取得。順天堂大学医学部非常勤講師、東京薬科大学客員研究員、プロブジン(株)顧問、内毒素LPS研究会運営委員。

LPS コンサルティング事務所  
(Laboratory Program Support)

☎ 03-6383-3919 ☎ 03-6383-3928

① 東京都新宿区西新宿 4-7-13

モアエミネンス西新宿104

E-mail ● htmura@lpsct.com

http://www.lpsct.com/

順天堂大学医学部 生体防御・生化学講座

http://www.juntendo.ac.jp/graduate/  
laboratory/lab0/seikagaku\_seitaibogyo/  
html/index\_j.html

数々の技術イノベーション、  
新製品開発、特許、共同研究、  
論文等で多くの実績を重ねる

カプトガニ凝固系を用いた細菌内毒素の高感度定量システムの開発及び局方収載(エンドキシン試験法)、グローバルな臨床応用(体外診断用医薬品、FDA認可取得)、抗菌ペプチド、βグルカンなどのバイオ素材による創薬の探索および権利化等を推進。

# Person on Topic

INTERVIEW | 地域産業を考える…⑩

「L P S (Laboratory Program Support) コンサルティング事務所(代表 田村弘志、学術博士)」は、主にバイオ素材を用いた医薬品・原薬・医療機器などの品質確保に必須な細菌毒素や微生物関連試験の適切かつ効果的な実施ならびに新しい技術・製品開発を支援している(対製薬メーカー・バイオベンチャー等)。さらに、順天堂大学医学部 生体防御・生化学講座の長岡 功教授を特別顧問に、

感染症の早期診断と治療、予防、健康増進に関する産学共同研究を進めている。同社では、上記のような大学発の抗菌ペプチド、免疫調節物質、糖脂質、体質遺伝子などの各種バイオ素材が持つ魅力や可能性を最大限に引き出し、企業や外部機関の協力を得ての早期実用化を主たる目標としている。近年の自然科学や医学の進歩に伴い、付加価値の高いより優れたプロダクトや医療サービスに対する社会的ニーズが高まっているが、魅力あるシーズをいかに適確に発掘し、金の卵に育てるかは決して教科書通りにはいかない。世界的な技術開発競争の中で、これらのシーズをどう市場ニーズにマッチングさせるか、新しいグローバルニーズをいかに開拓できるかが企業成長の鍵を握

ると言っても過言ではない。「L P S コンサルティング事務所」では、その高度な専門性と技術力、経験を通じて得られた見識を武器に、各種調査(市場・技術・知財・法規制動向など)とそれに基づく事業提案を行い、研究者と企業間のコーディネート、緊密なネットワークの構築、さらには大学の教育指導を通じ、企業・教育機関における人材育成などを支援するとともに、講演会やセミナーの企画などを進めている。代表の田村氏は、医薬品企業で長年培った知識や経験、人脈を最大限に生かしつつ、バイオリソースの潜在性と先端技術を上手く活用することで社会貢献につなげていきたいと考えている。

(ライター/本名広男)

「LPSコンサルティング事務所」では、産学連携をコーディネートし、新製品・サービスの開発・上市を支援する。

## バイオ・医療の産学連携 開発・上市支援で社会貢献